

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立今治西高等学校

学校番号(14)

評価実施日		令和7年2月18日(火)	
委員	氏名	所属等	備考
	野間 逸人	税理士	
	吉武 美由紀	病院事務長	
	檜垣 伸人	元県立学校校長	
	村上 雅浩	会社経営者	
	田中 良史	全日制PTA会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 全日制について</p> <p>(1)教育目標について 学校の教育目標や重点努力目標が保護者に伝わりにくく、評価がしづらい項目がある。広く周知を行っていただきたい。また学校が掲げている目標と実際にやっていることにギャップがあるように思う。生徒は目標を遠くに感じているのではないか。</p> <p>(2)基本的生活習慣の確立について 欠席日数が0日である生徒の割合が、40%台と低いのが気になった。コロナ禍はほぼ終息しているが、まだ生徒が学校に来づらい状況にあるようだ。担任の仕事は多忙であることや、すぐに解決できる問題ではないことを理解しているが、心のケアをお願いしたい。</p> <p>(3)人権・同和教育の充実について 人権・同和教育の公開授業に参加させてもらった時、生徒一人一人が個々に意見を持って自分の問題として参加していた。生きる力や人前で発言する力が身に付いている。</p> <p>(4)部活動の充実と心身の健やかな成長について 部活動もしっかりと結果をだしている。他校に比べても、よい魅力発信ができていいる。少子化に伴うクラス数、教員数減少の中ではあるが、今西の活力が減らないように努力してほしい。</p>	<p>・終業式など学期ごとの式典において、各課長が教育目標や重点目標に近いものを説明している。学校生活などの更なる周知ができるように、ホームページ等での情報発信を工夫をしていきたい。</p> <p>・スクールライフアドバイザーは生徒だけでなく、保護者の悩み相談にも対応している。スクールライフアドバイザー、担任、教育相談課と連携し、各自が抱える悩みや困りごとをしっかりと聞き取って寄り添い、安心して過ごせる学校や教室を作っていきたい。</p> <p>・HR活動や講演会等の研修の機会だけでなく、西高人権デーや各教科・科目の学習活動を通じて、人権尊重の意識を高める効果がでている。</p> <p>・部活動の統廃合が大幅に実施されるが、残された部活動の活性化を進め、生徒の部活動の満足度が低下しないようにしていく。</p>

(5) 自ら学び自ら考える力を育てる家庭学習の充実について

家庭学習時間が減少している。勉強をあまりしない生徒が一定数いるようだ。教室の雰囲気勉強をしない、遊んでいる感じにさせないために、どう対応をしていくかを考えて欲しい。

2 定時制について

(1) 教育活動全般について

学校自己評価の項目の多くが昨年度より高くなっており、良かったと思う。今年度は全学年一緒に修学旅行に行っており、素晴らしいと思った。

・低学年での継続的な学習習慣の確立と、学年が上がるごとに主体的に学ぶ習慣が身に付けられるように、学校全体の問題として取り組んでいきたい。

・多様な生徒と良好な関係を築きながら、生徒の学習意欲が高まるように支援していきたい。